



かえるの詩

学校便り(校長) 令和3年5月28日 No.3

今日のテーマは、『資質・能力』についてです。

学校教育が、「学習内容」を身に付けさせることから「資質・能力」を身に付けさせることへと大きくかわってきていると感じています。

ひらたく言いますと

(これまでの例です。)

理科 リトマス紙が赤くなるのが酸、青くなるのがアルカリ。

社会科 地図記号を覚えている (🏠：老人ホーム 🌳：広葉樹林)。

(これからの例です。)

理科：アルカリ性洗剤は手につくと危険なのでビニール手袋をする。

社会科：地図を見て目的地へ行く。地図を見て家を建てる場所を検討する。

資質・能力というと難しい感じがするのですが、もう少し大きく言いかえると、変化が激しく予測困難な未来を「幸せに生きぬく力」だと考えています。

例えば、

- 最低限、役場等で各種手続きができるくらいの読む力は必要です。
- 仕事では、算数で培った論理的に考える力が役立つ場面も多いでしょう。
- 肥料や除草剤選びにも、情報を活用する力が必要なのでは？
- 本校の保護者の方々のように楽しく会話できるコミュニケーション能力は、楽しむことだけでなく、困っている時に助けを求める能力にも繋がります。

小学校では、論理的思考力を培ったり、科学的に分析する力を育成したりする必要があるのですが、かといって最低限の読む力や計算力もおろそかにできません。基本45分間の授業ですので、なかなかの難題です。

